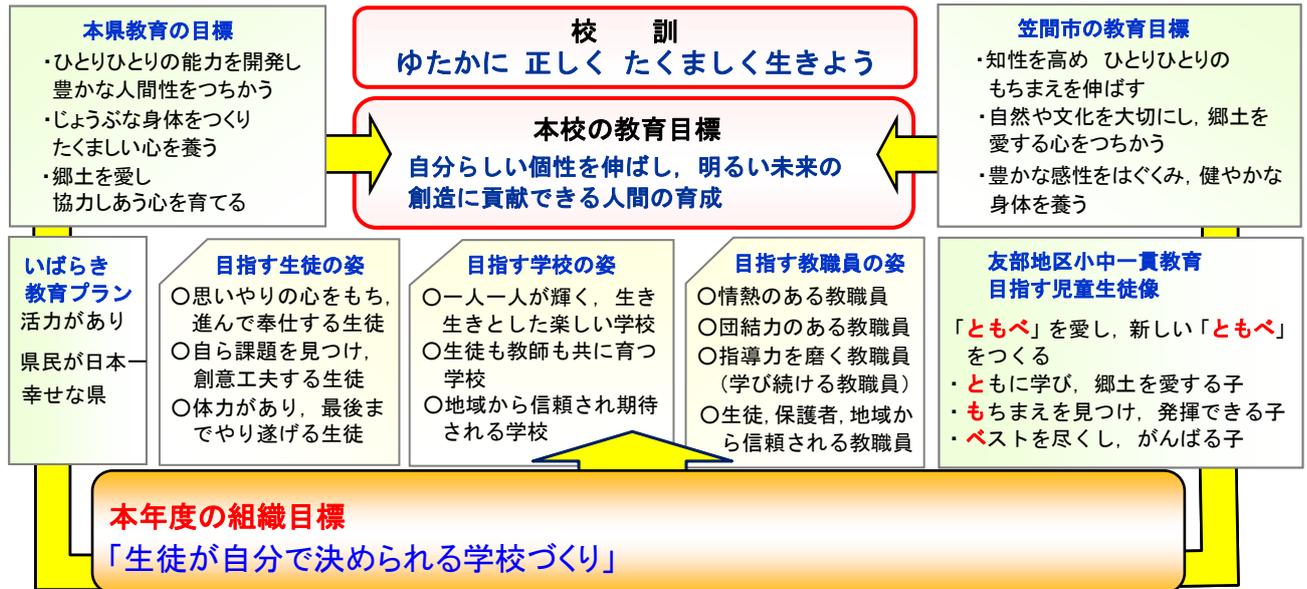


# 令和6年度 友部中学校グランドデザイン



## 活気ある授業の創造

- 生徒が ICT 機器を効果的に活用
  - ・表現力を高める授業改善 (資料作成、発表、発信など)
  - ・学び合いの充実
  - ・発表力を高める。(相手を見て、ゆっくりと)
- 習得と活用を意識した授業
  - ・個別最適な学びの充実
- ※学び＝知識×気づき×実践 (体験)
- 友中メソッドの確実な実施による「わかる楽しい授業づくり」のための活動と場の工夫
- ※試行錯誤、アウトプット、振り返りの重視

## 健康や体力を育む

- 基本的な生活習慣の確立
- 学校：3 あっぷ運動の推進
- ①あいさつ②後始末③ありがとう
- 食育を推進し、望ましい食習慣を形成する。
- 主体的な運動による体力向上
- 薬物乱用防止プログラムの実施

### 喫緊の教育課題について

- 1 服務規律の確保に向けた取り組み: 学校コンプライアンスに係る計画的・効果的な研修の推進(ボトムアップ研修で当事者意識をもつ)・声を掛け合い、風通しのよい職場の醸成)・外部人材の活用
- 2 教職員の育成: 学年、教科部(チーム)による組織全体の質の向上・若い教員の育成。
- 3 働き方改革の取り組み: ①ICTの有効活用(Chromebook、メール配信など)②部活動の地域移行と外部人材の活用
- 4 SDGs教育の推進

### グループ目標

- 1 年生 感謝の気持ちを持ち、振り返りを通してより良い生活へ向けて前進することができる生徒の育成
  - 2 年生 Climb on! 『Next Challenge』中堅学年としての自覚を持ち、授業や学校行事など様々な場面で、自ら率先して動き、何事にも真剣に取り組める集団を育てる。
  - 3 年生 基礎的な生活習慣や基礎的な学力など、自ら判断し自主的に実践できる生徒を育てる。
- 教務部 生徒の自主性・自立的活動を大切にできるような環境を作り、チームで友中協働性を高める。

## 豊かな人間性の育成

- 自己選択・自己決定・認められる機会
- ※自信をもって生活できる生徒育成
- 生徒と教職員がつくるキーワードを意識した生活・CHANCE・CHALLENGE・CHANGE (どんな機会でも挑戦し、自分を変えよう)
- 心に響く道徳教育の推進と人権教育の充実
  - ・話し合い活動を充実させ、自分とは違うものを受け入れる力をつけることで相手の気持ちを尊重し、思いやりのある生徒を育成する。
- 生徒とともに活動し、生徒が活躍する場を意図的に作り充実させる。
- 生徒会活動、学校・学年行事、部活動、ボランティア活動を通して、生徒の主体性を高める。→生徒の所属間や自己有用感を高める。

## 地域とともにある学校づくり

- 友部地区小中一貫教育の推進 (9年間の連続した学び)
- コミュニティ・スクールを生かした教育活動
- 友中守りたいの推進
- 地域の教育力・教育資源・外部人材の活用
- 各種便り、ホームページ等での積極的な情報発信
- 学校評価を生かした学校改善

CHANGE CHALLENGE CHANGE